

- ✓ 今月の寄稿 大場 龍夫氏
- ✓ 事業活動報告
ゼロエミッション研究会
- ✓ 事業活動報告
森林保全活動 日向の森・埴谷の森



今月の寄稿

株式会社 森のエネルギー研究所
代表取締役 大場 龍夫 氏



脱炭素社会に向けて「森のエネルギー」が注目されている中、いち早く取り組みを行っている(株)森のエネルギー研究所代表取締役で、SEFの理事である大場氏にお話を伺いました。

篝火(かがりび)の炎は、薪の炎と炎が熱を与え合って燃え続けます。

多少の風が吹いたとしても簡単に消えないのは、お互いに支え合う関係性があるからです。人と人の関係性、人と森・自然の関係性、人と地域の関係性…何一つとして関係しないものはないのに、それを忘れてしまいがちです。私たちは、これらの忘れかけていた関係性を再びつなぎ直して活かし合うため、人づくり、ものづくり、仕組みづくり、仕掛けづくりをするチャレンジ集団です。

お互いに熱を与え合って大きな炎を生み出すことにより、ご一緒に未来を照らしていきましょう！

株式会社 森のエネルギー研究所

「森のエネルギー研究所」の仕事は、見捨てられた森林を救いたいという想いから、森林のエネルギー利用を始め、森林の恵み・価値を最大に引き出す仕組み・事業を創ることです。

Our Mission

私たちは、森林資源の多様な性質を最大限に活かすことを通じて、人が森に感謝し、人と森のつながりを再生し、地域を活性化し、地球温暖化を防止しながら、豊かな持続可能社会への転換に貢献することを使命としています



薪から電気を生かす木屑発電実験装置



森林の上流・中流・下流を結びつける(会社案内抜粋)

森のエネルギー研究所は、薪から電気を作る手作り実験から始まりました。

ホームページ <http://www.mori-energy.jp/>

ゼロエミッションの実現に向けて、食品小売業・外食産業店舗から発生する廃棄物(特に食品循環資源)の発生抑制・資源循環・適正処理の手法を学ぶ場として勉強会を開催しています。

7月15日 第2回勉強会

第2回では、「～持続可能な農業と循環型社会の構築に向けて～食品リサイクル事業の取組」というテーマで、(株)不二産業の渡邊聡氏にお話していただきました。

不二産業様は、新潟県新潟市のリサイクル企業として、廃棄物の資源的価値を追求している企業です。小売店やホテルなどの食品循環資源を堆肥化し、その堆肥を地域の生産農家で利用してもらい、その後、収穫した野菜や果物は小売店やホテルに出荷するという循環資源の地産地消を行っています。今回は、そのノウハウをもとに処理工程や施設、食品リサイクル循環ループについて、ご説明いただきました。オンライン開催となりましたが、26社42名と多くの方にご参加いただきました。



7月15日
第2回勉強会



9月16日 第3回勉強会

9月16日 第3回勉強会

第3回では、オンライン開催ながらも26社40名と多くの方にご参加いただき、令和3年度愛知県の循環型社会形成事業補助金を活用したコーヒー粕事業を中心とした勉強会でした。

①「コーヒー粕の機能性に注目した国内初の高付加価値化事業について」 (株)小柵屋 鈴木 邦彦氏

小柵屋様は、愛知県を拠点に堆肥や飼料、メタン発酵助剤の製造販売を行っています。コーヒー粕が年間60万トン発生している現状と、最適な資源循環の活用がされていないことを課題とし、全国初の飲料メーカー・外食事業者・小売事業者の異業種合同での再生利用計画の実現に向けた事業概要や、コーヒー粕の高付加価値化について、ご説明していただきました。

②「食品リサイクルにおけるコーヒー豆粕の利用」

麻布大学 河合 一洋氏

飼料としてのコーヒー豆粕の成分と期待される機能について、搾乳環境や牛の生育状況なども交えた研究内容をお話していただきました。実際にコーヒー飼料を与えている酪農家からの評価や、飼牛にコーヒー豆粕を与えた場合の今後の展望を専門的な観点からもご説明いただきました。

③「イオンエンジンによる極低エネルギー乾燥システムと需要関連事業のご紹介」

グレンカル・シナリー(株) 中石 雅仁氏

SDGsの目標達成に貢献すべく、「極低エネルギー・低コスト乾燥機の普及によるCO₂の削減」、「プラスチック用バイオマスファイバーによるプラスチック利用量の削減」、「食品残差の再資源化による循環型社会の実現」を目指した新規事業を推進しています。今回は、実現するうえで必要な新技術である「MIRAシステム」搭載の「レドッグマスター乾燥機」の紹介と、新規事業についての概要をご説明していただきました。

2021年度ゼロエミッション研究会 概要

【日程】全6回

第4回：2021年11月18日(木) 15:00～17:00
第5回：2022年1月20日(木) 15:00～17:00
第6回：2022年3月17日(木) 15:00～17:00

<見学会>

2021年11月18日(木)

【勉強会 会場】新潟県 株式会社不二産業 リサイクル工場

【勉強会 会場】ワタミ株式会社東京(大鳥居)本社会議室

【参加費】70,000円 ※賛助会員(民間団体)は無料
※別途：見学会交通費、遠方への個別相談時交通費

【講師】・百瀬則子氏

(SEF業務執行理事、ワタミ株式会社SDGs推進本部長)

・志岐秀明氏

(SEF理事、株式会社ガイアドリーム代表取締役)

・牛久保明邦氏

(SEF顧問、東京農業大学名誉教授)

ほか、資源循環・廃棄物関連専門家多数登壇予定

森林再生事業 活動報告

日向の森・埴谷の森で 森林保全活動を実施しました！

日向の森・東御の森・海上の森で森林保全活動 ※2021年7月～9月

	定例会	場所	イベント	参加人数(スタッフ除)
7月	10日	日向の森	定例保全活動	11名
9月	12日	日向の森	小学館様の取材対応	7名

※緊急事態宣言の影響により、中止になった活動は除く。

2021年9月末までの累計(スタッフ除)

日向の森 **81名** 海上の森 **17名** 東御の森 **10名**

◎千葉県山武市の森の紹介

山武市はかつて良質なスギ材として有名なサンブスギの産地でした。しかし、林業の低迷により、人の手が入らなくなった人工林が増加しています。そこでSEFの森林再生事業部門を担っていたNPO法人が、2006年に「埴谷(はにや)の森」と「板川の森」から森林再生活動を始めました。

2013年には、山武市と森林保全協定を結び、現在は「日向の森」で毎月2回の森林保全定例活動を行なっています。また、年2回「6歳になったら机を作ろう」等のイベントを開催しています。

コロナ禍における緊急事態宣言の発令により、今年度の7月～9月では、定例活動1回・イベント1回のみ実施し、総勢23名が参加しました。

◎千葉県山武市「日向(ひゅうが)の森」 「埴谷(はにや)の森」定例活動

7月10日(土)湿度70%を超える蒸し暑い夏日の中、森林保全活動を実施しました。今回は参加者の半数が学生だったこともあり、元気いっぱい活動して下さいました。暑い中での作業だったため、こまめな水分補給と塩分補給を行い、作業に臨みました。



※マスクは写真撮影の時のみ外しました。



AM：埴谷の森 植樹地の草刈

埴谷の森は、2019年秋の台風により多くの倒木被害が発生しました。昨年度、グンゼラブアース倶楽部様よりご寄贈頂いたクヌギ・コナラの苗木を植樹し、埴谷の森を再生させる森林再生活動を進めています。

午前中は、昨年度植樹したクヌギ・コナラの苗木周辺の草刈を行いました。植樹当時、ピンク色のリボンを竹に結び、植えた位置がわかるような目印をつけていました。しかし、植樹してから1年弱ぶりだったこともあり、苗木よりも周辺の草花が高く成長し、植樹した位置が分からない状態になっていました。しかし、ボランティアの皆様のおかげで、植樹地がすっきり綺麗な状態に変化し、苗木にも林床にもしっかりと日が当たる状態へと整えることができました。



PM：サンブスギの蔓取り

昨年度・今年度に植樹したサンブスギ苗木に巻き付いている蔓を取り外す作業を行いました。整備してからそれほど時間が経過していないこともあり、蔓を取り外す作業はかなり容易でした。サンブスギが大きくまっすぐ成長するためには、この蔓を取り外す作業はとても重要なため、皆さん丁寧に作業をしてくださいました。





SEFでは、各地域での森林保全活動をお手伝い頂けるボランティアさんを募集しています。

千葉県山武市では原則として毎月第2・第4土曜日に定例活動を行っているほか、他地域でも年数回の活動を実施しています。
 なお、活動実施にあたっては感染症の拡大防止に最大限の配慮を講じてまいります。

下記リンクから確認事項等ご参照のうえ、ご参加をお願いいたします。
<https://save-earth.or.jp/archives/6783>

<10～12月の活動予定>

●千葉県山武市

10月2日(土)、11月27日(土)

12月11日(土)、12月25日(土)

★千葉県山武市

※引き続き、2018年の台風15・19号による被害を受けた人工林の復旧作業を中心とした活動を予定しています。

※その他地域での活動予定については、SEFホームページをご覧ください。

活動の詳細、お申込みはコチラ ▶ <https://save-earth.or.jp/event>

賛助会員・サポーター入会のご案内

SEFの活動は、皆さまからのご支援に支えられています。
 「美しい地球を未来の子どもたちに残したい」。この思いにご賛同いただける皆様のご入会をお待ちしております。

企業・団体	会員特典	<ul style="list-style-type: none"> ・食品リサイクルループ構築支援 ・「企業の森づくり活動」支援 ・廃棄物法令、食品リサイクル、廃棄物管理等の専門家による助言・指導 ・「ゼロエミッション研究会」など、各種セミナー等へのご招待・ご優待 		
	会員区分 年会費	特別賛助会員	1口	500,000円
個人	会員区分 年会費	賛助会員	1口	50,000円
		資源循環サポーター	1口	50,000円(資源循環事業に用途を限定)
		森林再生サポーター	1口	50,000円(森林再生事業に用途を限定)
	会員特典	<ul style="list-style-type: none"> ・「ゼロエミッション研究会」など、各種セミナー等へのご招待・ご優待 ・森林ボランティア活動参加者に千葉県産サンプスギ製「サポーター登録証」を発行 		
		賛助会員	1口	10,000円
		資源循環サポーター	1口	1,200円(資源循環事業に用途を限定)
		森林再生サポーター	1口	1,200円(森林再生事業に用途を限定)

ご入会のお申込みはこちらから → <https://save-earth.or.jp/member/apply>

